

冷鉄源溶解炉による廃タイヤリサイクル

【主な投入原料】

市中発生屑
(廃スチール缶)
社内発生屑
銑鉄
微粉炭

【冷鉄源溶解法】

原料の自由度大
熱源の多様性
副生ガスの有効利用
不純物のスラグ・ダストへの分離機能

6万t/年利用

【タイヤの組成】

ゴム 51%
カーボン 30%
亜鉛、加硫等6%
スチール・ワイヤー 13%

廃タイヤは56wt%がガス、13wt%が鉄鋼製品、31wt%が炭化物としてリサイクルされる。